

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月20日

上場取引所 大

上場会社名 モーニングスター株式会社

コード番号 4765 URL <http://www.morningstar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役COO

(氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 平成23年11月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,084	△8.1	284	11.6	336	9.1	183	7.1
23年3月期第2四半期	1,179	2.2	254	38.6	308	29.4	171	26.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 183百万円 (3.6%) 23年3月期第2四半期 177百万円 (28.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	663.31	—
23年3月期第2四半期	640.61	640.07

24年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	7,585	7,300	96.2	26,349.75
23年3月期	7,689	7,381	89.4	25,668.28

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,300百万円 23年3月期 6,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	750.00	750.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の期末日における配当予想額は現時点で未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

次期の業績予想につきましては、欧州における財政不安が、金融業界の動向を予想するのは難しく、当社グループの業績に与える影響について合理的な算定が困難なことから、現時点では未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) ゴメス・コンサルティング株式会社
当社は平成23年7月1日に子会社ゴメス・コンサルティング株式会社を合併いたしました。詳細は、「4. 連結財務諸表、注記事項(企業結合関係)」をご参照下さい。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	279,128 株	23年3月期	271,192 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,069 株	23年3月期	3,310 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	277,129 株	23年3月期2Q	267,882 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

24年3月期期末の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結キャッシュ・フローに関する定性的情報	3
(4) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)	11
(追加情報)	11
注記事項	11
(四半期連結貸借対照表関係)	11
(四半期連結損益計算書関係)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー関係)	12
(株主資本等関係)	13
(株主資本の金額の著しい変動)	13
(企業結合関係)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
補足情報	17
5. 四半期財務諸表	17
(1) 四半期貸借対照表	17
(2) 四半期損益計算書	19
注記事項	20
(四半期貸借対照表関係)	20
(四半期損益計算書係)	20
(1株当たり情報)	21
(重要な後発事象)	21

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の連結業績は、売上高が前年同四半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の1,179百万円から95百万円（△8.1%）の減収となる1,084百万円となりました。

セグメント別には、金融情報評価・情報提供・コンサルティングの当第2四半期連結累計期間の売上高は、928百万円と前年同四半期の969百万円から40百万円（△4.2%）の減収となりました。また、営業費用は、コスト削減活動により、前年同四半期の729百万円から117百万円（△16.1%）減少し612百万円となりました。その結果、金融情報評価・情報提供・コンサルティングの営業利益は、前年同四半期の238百万円から76百万円（32.2%）の増益となる315百万円となりました。

ウェブ・コンサルティングの売上高は、前年同四半期の210百万円から54百万円（△25.9）の減収となる155百万円となりました。また、営業費用は、前年同四半期の194百万円から61百万円（△31.5%）減少し、133百万円となりました。その結果、ウェブ・コンサルティングの営業利益は、前年同四半期の16百万円から7百万円（46.7%）の増益となる23百万円となりました。

上記のセグメント別営業費用のほか全社共通費が53百万円かかり、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の254百万円から29百万円（11.6%）の増益となる284百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の308百万円から28百万円（9.1%）の増益となる336百万円となりました。

特別損失を12百万円計上した結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同四半期の171百万円から12百万円（7.1%）の増益となる183百万円となりました。

・商品・サービス別販売実績

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成23年9月30日)		増加率 △減少率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
商品・サービス別売上高					
金融情報評価・情報提供・コンサルティング					
コンサルティング	196,604	16.7	165,306	15.2	△15.9
データ・ソリューション	635,086	53.8	618,906	57.1	△2.5
メディア・ソリューション	137,465	11.7	144,125	13.3	4.8
計	969,155	82.2	928,337	85.6	△4.2
ウェブ・コンサルティング	210,365	17.8	155,860	14.4	△25.9
連結売上高	1,179,521	100.0	1,084,197	100.0	△8.1

(注) ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティングは、当第2四半期連結会計期間より、ウェブ・コンサルティングにセグメント名を変更しております。

(金融情報評価・情報提供・コンサルティング)

・コンサルティング

モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言売上が増加したものの、セミナー・フリーマガジン関連の売上が減少し、コンサルティングの売上高は、前年同四半期の196百万円から165百万円（△15.9%）の減収となる165百万円となりました。

・データ・ソリューション

ファンドデータの売上が増加したものの、日刊「株式新聞」の発行部数が減少したため購読料売上が減少いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上は、前年同四半期の635百万円から618百万円（△2.5%）の減収となる618百万円となりました。

・メディア・ソリューション

ウェブ広告に係わる売上が増加いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の137百万円から144百万円（4.8%）の増収となる144百万円となりました。

(ウェブ・コンサルティング)

サポート売上が堅調に推移したものの、アドバイザー売上ほか減少し、その結果、前年同四半期の210百万円から155百万円（△25.9%）の減収となる155百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は前連結会計年度末と比較して104百万円減少し、7,585百万円となりました。

これは主として、流動資産が前連結会計年度末と比較して1,088百万円減少し、5,826百万円となった一方、固定資産が前連結会計年度末と比較して982百万円増加し、1,756百万円となったことによるものであります。

流動資産の減少は、長期預金に1,000百万円を預入れ、固定資産へ振替を行なったこと、配当金の支払を200百万円行なったことなどにより、現金及び預金が1,100百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産の増加は、主として長期預金が1,000百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して23百万円減少し、284百万円となりました。

負債の減少は、主としてコスト削減による営業費用の減少により、買掛金及び未払金が合計28百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に183百万円の四半期純利益が計上され、200百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が25百万円減少いたしました。

子会社ゴメス・コンサルティング株式会社との株式交換により、その他の資本剰余金が387百万円増加し、自己株式が121百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間に自己株式59百万円購入し、自己株式は前連結会計年度末と比較して62百万円減少しております。

また、株式交換により、ゴメス・コンサルティング株式会社が完全子会社とし、その後合併したため、少数株主持分が505百万円減少しゼロとなりました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して81百万円減少し、7,300百万円となりました。

(3) 連結キャッシュ・フローに関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ338百万円減少し、709百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、20百万円増加し、223百万円の獲得となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期と比べ17百万円増加し、324百万円計上されたことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、210百万円減少し、295百万円の支出となりました。

これは、主として長期預金・定期預金への預入（純額）が、前年同四半期の50百万円から、当第2四半期連結累計期間は250百万円となったこと、無形固定資産の取得に60百万円支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は前年同四半期に比べ、105百万円増加し、267百万円となりました。

これは、主として期末配当金の支払が前年同四半期の160百万円から、当第2四半期連結累計期間は200百万円となったこと、自己株式を59百万円取得したことによるものであります。

(4) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成23年4月22日に子会社ゴメス・コンサルティング株式会社を株式交換により完全子会社化および上場廃止を行い、平成23年7月1日に合併いたしました。また、事務所の統合も行なっております。

この経営統合により上場費用、監査費用、賃借料その他のコストの大幅削減を図り、経営統合によりサービス内容の向上、営業力の強化をいたします。

また、急速に変化する情報環境に迅速かつ適切に対応できる体制を構築し、常に最新の情報機器、コミュニケーションツールを活用した商品・サービスを提供していきたいと考えております。

また、より一層グローバル・アセット・アロケーションの進展に対応すべく、海外金融情報を強化したいと考えております。

次期の業績予想につきましては、欧州における財政不安が、金融業界の動向を予想するのは難しく、当社グループの業績に与える影響について合理的な算定が困難なことから、現時点では未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社と子会社ゴメス・コンサルティング株式会社は、平成23年7月1日に合併いたしました。
詳細は、4. 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）に記載のとおりであります。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,028,445	927,932
売掛金	276,281	280,808
有価証券	4,569,193	4,569,223
たな卸資産	※1 2,390	※1 3,696
繰延税金資産	17,629	18,684
その他	24,240	29,249
貸倒引当金	△2,875	△2,785
流動資産合計	6,915,305	5,826,810
固定資産		
有形固定資産	※2 31,065	※2 31,484
無形固定資産		
のれん	118,560	114,874
その他	230,362	242,084
無形固定資産合計	348,922	356,958
投資その他の資産		
投資有価証券	70,917	70,850
繰延税金資産	2,817	2,816
長期預金	100,000	1,100,000
その他	220,695	194,504
投資その他の資産合計	394,430	1,368,171
固定資産合計	774,418	1,756,614
繰延資産		
株式交付費	—	1,578
繰延資産合計	—	1,578
資産合計	7,689,724	7,585,003

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,530	35,257
未払金	93,654	71,585
未払法人税等	130,225	136,178
未払消費税等	15,653	17,514
役員賞与引当金	8,250	—
その他	16,173	21,564
流動負債合計	305,486	282,101
固定負債		
資産除去債務	2,442	2,467
固定負債合計	2,442	2,467
負債合計	307,929	284,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,093,080	2,093,080
資本剰余金	2,821,637	3,208,782
利益剰余金	2,083,242	2,057,783
自己株式	△121,812	△59,094
株主資本合計	6,876,147	7,300,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77	△117
その他の包括利益累計額合計	△77	△117
少数株主持分	505,724	—
純資産合計	7,381,794	7,300,434
負債純資産合計	7,689,724	7,585,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,179,521	1,084,197
売上原価	592,022	545,085
売上総利益	587,498	539,111
販売費及び一般管理費	※1 332,533	※1 254,589
営業利益	254,965	284,522
営業外収益		
受取利息	54,300	53,575
受取配当金	21	16
その他	783	805
営業外収益合計	55,105	54,397
営業外費用		
支払利息	21	—
為替差損	35	1,370
株式交付費	—	254
持分変動によるみなし売却損	1,118	—
その他	2	366
営業外費用合計	1,178	1,991
経常利益	308,891	336,928
特別損失		
事務所移転及び閉鎖費用	—	※2 1,594
持分変動によるみなし売却損	—	1,463
受託投資信託償還損失	—	※3 9,066
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,000	—
特別損失合計	2,000	12,124
税金等調整前四半期純利益	306,891	324,804
法人税、住民税及び事業税	130,102	142,009
法人税等調整額	△734	△1,027
法人税等合計	129,367	140,982
少数株主損益調整前四半期純利益	177,523	183,821
少数株主利益	5,915	—
四半期純利益	171,608	183,821

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	177,523	183,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	△39
その他の包括利益合計	△94	△39
四半期包括利益	177,429	183,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,513	183,782
少数株主に係る四半期包括利益	5,915	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	306,891	324,804
減価償却費	49,667	48,991
長期前払費用償却額	3,190	3,190
のれん償却額	3,685	3,685
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,328	△90
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,250	△8,250
受取利息及び受取配当金	△54,321	△53,591
支払利息	21	—
株式交付費	—	254
固定資産除却損	—	832
為替差損益 (△は益)	—	1,370
持分変動によるみなし売却損益	1,118	1,463
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,131	△4,527
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,043	△1,306
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,657	△6,272
未払金の増減額 (△は減少)	△8,762	△13,938
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,188	5,867
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	4,815	7,474
その他	212	—
小計	284,005	309,957
利息及び配当金の受取額	55,469	54,809
利息の支払額	△21	—
法人税等の支払額	△136,951	△138,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,502	226,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△800,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	750,000	950,000
長期預金の預入による支出	—	△1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,986	△7,236
無形固定資産の取得による支出	△32,150	△60,945
敷金及び保証金の差入による支出	—	△4,208
敷金及び保証金の回収による収入	—	27,209
その他	△338	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,475	△295,181

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による支出	—	△1,832
自己株式の取得による支出	—	△59,094
少数株主からの払込みによる収入	1,327	1,770
配当金の支払額	△160,114	△200,511
少数株主への配当金の支払額	△1,880	△8,235
リース債務の返済による支出	△1,709	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,377	△267,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1,370
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△44,350	△338,415
現金及び現金同等物の期首残高	1,032,225	1,047,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 987,874	※1 709,223

(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(1) 連結の範囲の変更 当社は平成23年7月に子会社ゴメス・コンサルティング株式会社を合併いたしました。平成23年7月1日以降当社の連結子会社は、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社及びMS Investment Servicesの2社となっております。
(2) 持分法の適用の範囲の変更 該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
※1 たな卸資産の内訳	※1 たな卸資産の内訳
仕掛品 392千円	仕掛品 180千円
貯蔵品 1,997千円	貯蔵品 3,516千円
※2 有形固定資産の減価償却累計額 200,201千円	※2 有形固定資産の減価償却累計額 205,051千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目 役員報酬 19,076千円 従業員給与 122,013千円 荷造運賃 47,893千円 支払報酬 19,404千円 賃借料 9,047千円 雑給 10,071千円	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目 役員報酬 18,511千円 従業員給与 79,965千円 荷造運賃 44,111千円 支払報酬 10,515千円 賃借料 6,579千円 雑給 852千円
—	※2 事務所移転及び閉鎖費用の内訳 当社との合併に際して、子会社ゴメス・コンサルティング株式会社が事務所を閉鎖し、当社事務所に移転した際の費用、および子会社モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社の移転費用であります。 固定資産除却損 832千円 事務所移転諸費用 761千円
—	※3 受託投資信託償還損失の内訳 子会社 MS Investment Servicesが、管理運営する外国籍投信を早期償還した際に、当該外国籍投信の設立費用の未償却残高を、契約に基づき、MS Investment Servicesが負担し、生じた損失であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 1,918,709千円 有価証券 4,569,165千円 3ヶ月超の定期預金 Δ 1,000,000千円 現金同等物以外の有価証券 Δ 4,500,000千円 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高 987,874千円	※1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 927,932千円 有価証券 4,569,223千円 預け金 12,068千円 3ヶ月超の定期預金 Δ 300,000千円 現金同等物以外の有価証券 Δ 4,500,000千円 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高 709,223千円

(株主資本関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年5月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	160,729	600	平成22年3月31日	平成22年6月4日

- (2) 基準日が当連結会計年度開始の日から当第2四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年5月20日 取締役会	普通株式	利益剰余金	200,911	750	平成23年3月31日	平成23年5月31日

- (2) 基準日が当連結会計年度開始の日から当第2四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動)

当社は、平成23年4月22日に、子会社であるゴメス・コンサルティング株式会社(以下、ゴメス・コンサルティング)と株式交換(以下、本株式交換)を行ない、同社を完全子会社といたしました。

当社は、本株式交換が効力を生ずる時点の直前時のゴメス・コンサルティングの株主名簿に記載または記録された株主(当社を除く、以下同じ)に、所有するゴメス・コンサルティングの普通株式の株式数の合計に2.2を乗じた11,246株の当社の普通株式を割当て交付いたしました。

当社は、本株式交換により交付する11,246株のうち、3,310株については当社が保有する自己の普通株式を充当し、残り7,936株について当社の新株を発行いたしました。

その結果、その他の資本剰余金が387百万円増加し、自己株式が121百万円減少いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間に、自己株式を2,069株、59百万円取得しております。

また、剰余金の配当を200百万円、およびゴメス・コンサルティングにおいて少数株主への配当を8百万円行い、四半期純利益を183百万円計上した結果、株主資本は前連結会計年度末に比べ424百万円増加いたしました。

(企業結合関係)

当第2四半期連結会計期間（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）

共通支配下の取引等

1 結合当事企業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

ゴメス・コンサルティング株式会社（以下、ゴメス・コンサルティング）

事業の内容：ウェブサイトサイト評価・情報提供・コンサルティング

(2) 企業結合日

平成23年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、ゴメス・コンサルティングは解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称

モーニングスター株式会社

(5) 取引の目的を含む取引の概要

当社は、ゴメス・コンサルティングと平成23年4月22日を効力発生日として株式交換を行い、ゴメス・コンサルティングを当社の完全子会社といたしました。これにより、ゴメス・コンサルティングの株式は、平成23年4月19日に上場廃止となっております。

当社は、「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」を目指しております。そのためには、投資家の皆様への情報伝達手段を開発・改良することが不可欠と考えております。

当社は、スマートフォンやiPadなどの最新の情報端末による金融情報提供を行い、資産運用やIRなどのセミナーにUstream、Twitter、Facebookなどの最新コミュニケーションツールを活用するなど、金融市場、インターネット環境の変化に対応し、成果をあげております。

株式交換で完全子会社としたゴメス・コンサルティングは、このような最新端末・コミュニケーションツールの技術とノウハウを有しております。ゴメス・コンサルティングの技術とノウハウを活用し、当社グループが、より情報環境の変化に対応できる体制を構築し、常に最新の情報機器、コミュニケーションツールを活用した商品・サービスを開発し、当社およびゴメス・コンサルティングの顧客に提供するためには、合併により、組織を統合する必要があると判断いたしました。

また、ゴメス・コンサルティングとの株式交換の目的の一つに、上場の廃止により株式上場の維持費用ほかのコストの削減を図ることがありますが、合併により、賃借料、監査費用そのほかの管理諸費用をさらに削減することが可能になると考えております。

なお、当社は、ゴメス・コンサルティングの発行済株式の全部を保有しており、本合併による新株式の発行および資本金の増加はありません。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に係る会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	金融情報評 価・情報提 供・コンサル ティング	ウェブ・コン サルティング	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	969,155	210,365	1,179,521	—	1,179,521
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	500	500	△500	—
計	969,155	210,865	1,180,021	△500	1,179,521
セグメント利益	238,777	16,187	254,965	—	254,965

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントのうち、ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティングは、平成23年7月1日の当社とゴ
メス・コンサルティング株式会社との合併を機に、より適切に事業内容を表示するために、当第2四半期連
結会計期間より、ウェブ・コンサルティングにセグメント名を変更しております。

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融情報評 価・情報提 供・コンサル ティング	ウェブ・コン サルティング	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	928,337	155,860	1,084,197		1,084,197
セグメント間の内部売上高又は振替高		1,228	1,228	△1,228	
計	928,337	157,088	1,085,425	△1,228	1,084,197
セグメント利益	315,699	23,752	339,452	△54,930	284,522

(注) 1. ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティングは、当第2四半期会計期間よりウェブ・コンサル
ティングにセグメント名を変更しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額
報告セグメント計	339,452
セグメント間取引消去	△1,228
全社費用（注）	△53,702
四半期連結損益計算書の営業利益	284,522

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

記載すべき事項はありません

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
(1) 1株当たり四半期純利益金額	640円61銭	663円31銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	171,608	183,821
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	171,608	183,821
普通株式の期中平均株式数（株）	267,882	277,129
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	640円7銭	
（算定上の基礎）		
四半期純利益調整額（千円）	△145	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
（うち、子会社の発行する潜在株式による四半期純利益調整額）	△145	
普通株式増加数（株）	—	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

（重要な後発事象）

当第2四半期連結会計期間（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）

該当事項はありません。

【補足情報】

四半期財務諸表について

掲載した四半期財務諸表は、法定開示におけるレビューの対象とはならないものです。

当第2四半期財務諸表は、「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

区分	注記 番号	前事業年度の要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日)
(資産の部)			
I 流動資産			
1 現金及び預金		1,447,108	801,261
2 売掛金		171,947	246,361
3 有価証券		3,569,193	4,569,223
4 たな卸資産	※1	2,390	3,696
5 繰延税金資産		6,959	17,519
6 その他		36,245	29,993
7 貸倒引当金		△2,875	△2,785
流動資産合計		5,230,970	5,665,271
II 固定資産			
1 有形固定資産	※2	30,010	30,020
2 無形固定資産			
(1) のれん		118,560	114,874
(2) その他		227,711	240,164
無形固定資産合計		346,271	355,039
3 投資その他の資産			
(1) 投資有価証券		70,917	70,850
(2) 関係会社株式		407,732	30,000
(3) 繰延税金資産		2,874	2,898
(4) 長期預金		100,000	1,100,000
(5) その他		188,561	189,504
投資その他の資産合計		770,085	1,393,253
固定資産合計		1,146,368	1,778,313
III 繰延資産			
1 株式交付費		—	1,578
繰延資産合計		—	1,578
資産合計		6,377,338	7,445,162

(単位：千円)

区分	注記 番号	前事業年度の要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日)
(負債の部)			
I 流動負債			
1 買掛金		30,442	35,257
2 未払金		68,035	71,490
3 未払法人税等		103,609	123,358
4 未払消費税等		10,970	15,531
5 役員賞与引当金		8,250	—
6 その他		12,022	20,853
流動負債合計		235,686	266,491
II 固定負債			
1 資産除去債務		2,442	2,467
固定負債合計		2,442	2,467
負債合計		238,129	268,959
(純資産の部)			
I 株主資本			
1 資本金		2,093,080	2,093,080
2 資本剰余金			
(1) 資本準備金		2,484,387	2,484,387
(2) その他の資本剰余金		337,250	724,395
資本剰余金合計		2,821,637	3,208,782
3 利益剰余金			
繰越利益剰余金		1,346,381	1,933,553
利益剰余金合計		1,346,381	1,933,553
4 自己株式		△121,812	△59,094
株主資本合計		6,139,286	7,176,321
II 評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金		△77	△117
評価・換算差額等合計		△77	△117
純資産合計		6,139,209	7,176,203
負債純資産合計		6,377,338	7,445,162

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

区分	注記 番号	前四半期累計期間		当四半期累計期間	
		(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
I 売上高			925,193		962,418
II 売上原価			439,239		482,984
売上総利益			485,953		479,433
III 販売費及び一般管理費	※1		275,308		230,331
営業利益			210,645		249,101
IV 営業外収益	※2		58,472		63,645
V 営業外費用	※3		58		1,991
経常利益			269,059		310,756
VI 特別利益	※4		—		595,284
VII 特別損失	※5		2,000		984
税引前四半期純利益			267,059		905,055
法人税、住民税及び事業税		105,726		127,083	
法人税等調整額		2,242	107,968	△10,111	116,972
四半期純利益			159,090		788,083

注記事項

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度末 (平成22年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日)
※1 たな卸資産の内訳 仕掛品 392千円 貯蔵品 1,997千円 ※2 有形固定資産の減価償却累計額 193,598千円	※1 たな卸資産の内訳 仕掛品 180千円 貯蔵品 3,516千円 ※2 有形固定資産の減価償却累計額 204,574千円

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目 役員報酬 16,870千円 従業員給与 103,050千円 雑給 10,071千円 販売手数料 9,938千円 荷造運賃 47,853千円 支払報酬 12,405千円	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目 役員報酬 16,870千円 従業員給与 72,660千円 雑給 852千円 販売手数料 8,817千円 荷造運賃 44,095千円 支払報酬 10,082千円
※2 営業外収益のうち主要な費目 受取利息 2,268千円 有価証券利息 40,399千円 受取配当金 15,021千円 雑収入 783千円	※2 営業外収益のうち主要な費目 受取利息 1,629千円 有価証券利息 46,194千円 受取配当金 15,016千円 雑収入 805千円
※3 営業外費用のうち主要な費目 支払利息 21千円 為替差損 35千円 雑損失 1千円	※3 営業外費用のうち主要な費目 株交付費償却 254千円 為替差損 1,370千円 雑損失 366千円
※4 —	※4 特別利益の主な内訳 子会社ゴメス・コンサルティング株式会社との合併に際し、同社から受け入れた純資産と当社が保有する同社株式(抱合せ株式)の帳簿価額との差額を「抱合せ株式消滅差益」として特別利益に計上したものであります。
※5 特別損失の主な内訳 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 2,000千円	※5 特別損失の主な内訳 当社との合併に際して、子会社ゴメス・コンサルティング株式会社が事務所を閉鎖し、当社事務所内に移転した際の費用であります。 固定資産除却損 419千円 事務所移転諸費用 565千円

(1 株当たり情報)

前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 593.88円	1株当たり四半期純利益金額 2,843.74円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載し ておりません。	同左

(重要な後発情報)

該当事項はありません。